第2回 河内長野市総合計画（第1部会） 議事要旨

日時:令和6年12月26日(木)

午前9時30分から

場所:501会議室

1. 開会

○事務局あいさつ

2. 議事

(1) 基本構想骨子（素案）について（協議）

→資料1に基づき基本構想骨子（素案）について説明。

<質疑>

松端部会長：市民の目から見てどうか。

林委員：これが冊子になって、市民に配布されるのか。

松端部会長：市民に配布して共有するとともに、市外にもアピールして、全体の活性化を図る。

林委員：この資料は、先日のワークショップで出た意見をカテゴリごとに整理して、その中でポイントになる言葉が抽出され、それに対する説明書きがあるという形にまとまっているのか。

松端部会長：そのとおりである。日々暮らしていると気付かないが、ちゃんと見るとわかる良さが表現されている。

市事務局：これが完成形ではなく、他の部会のご意見も踏まえて進めていく。

松端部会長：松本委員は若い世代としてどう思うか。

松本委員：消滅するのではないかと不安だったが、これを見て、未来のあるまちだと感じた。もともとは教育に興味があり、経済格差やハンディキャップを持っている子どもたちを何とかしたいと思って参加した。

松端部会長：「地域がまるごと学校」にはピンとくるか。もしこないなら、ピンとくるように修正していく必要がある。

中道副部会長：「学びを誰かの喜びに」という表現はすごい。これからの生涯学習の方向性が書かれている。

松端部会長：「好き」がキーワードになっているが、松本委員は河内長野が好きか。

松本委員：昔の河内長野のほうが好きだった。新しい人が入ってきて、雰囲気が変わった。優しい市民が減ったという印象がある。

松端部会長：いろいろな意見があると思うので、率直なご意見をいただき、内容をブラッシュアップしていきたい。ターニングポイントを経た今後10年の方向性は、どん

な議論をしてどんな総合計画にするかによって決まる。

→資料1、資料2-1、2-2に基づき、基本構想骨子（素案）について2つのグループに分かれてディスカッション。

3. 事務連絡

→事務局より、事務連絡について説明

4. 閉会

(以上)

【参考：ディスカッションで出された主な意見】

問：10年後、私たちはどんな「ふだん」を生活しているのだろう。

答え（コピー）	A グループ	B グループ
自然が元気、みんなも元気。		<ul style="list-style-type: none"> ・内容が具体的でないので実感しにくい（自然の状態を知らない市民に伝える工夫が欲しい）
ホテルも、子どもたちも、光ってる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で育つ子育て ・「地域で子育て」は子育て世代に本当に求められているのか？地域と子育て中の親を間につなぐものが必要ではないか。 ・川をきれいにしたいボランティアが集まるまち ・今の自然を 10 年後も維持できるまちに ・まずは、現状に対しての解決策検討 ・施設の子育て以外の支援→地域住民のサポート ・子育て知恵袋の情報発信 ・緊急の子ども病気の対応する一時預かり ・育ち盛りの子どもの食料支援→食品ロスの活用 ・幼老複合施設の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルと子どもだけでなく「みんな」を入れた方が良さ。「ホテルも、子どもも、みんなも、光っている」 ・10年後にホテルが見られるように今以上にきれいな川を作っていく ・子どもが遊べる場所（公園など）の安全を維持する（見守り隊などで、子を安心して遊ばせられる場所に。） ・子どもが自然を知る・自然に対する興味をもっと増やせるような教育 ・光っている→輝いている ・自然を管理し、子どもも里山に触れ、自然観を育てていく ・住民で川を美しくする活動 ・沢山いる昆虫と触れ合える
水が美味しい。川が、まちが、美しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・水、川がまちが美しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・川といえば河内長野 ・水や川、市民が（良さを）実感できていないのではないか ・安心して遊べる川（心理的にも安全な川） ・子どもと川をつなげる→遊んだ記憶は財産に→意識が高まり綺麗な川に
求心力も抜群？ 日本一「安心」なまちへ。	<ul style="list-style-type: none"> ・求心力も抜群？→みんなで守る日本一「安心」なまちへ。 ・犯罪の発生率のデータを少し教えていただけたらと思います（府下の分） ・防犯、再犯防止、生活の安定 	<ul style="list-style-type: none"> ・「求心力」が何のことかわからない ・「求心力も抜群」がわかりにくい→心地よい・穏やか、など違う表現の方が良いのではないか ・"子どもたちへの見守りの良さについても触れたらな

	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の安定=安心 ・安心→災害、防犯、医療 ・防犯に対して→犯罪予防→行政と個人の対策 ・災害に対しての安心→他地域との比較、具体的対策 ・医療→健康維持、治療 ・震度7でも安心 ・誰もが楽しく、元気であいさつしてくれる、してもらえるまち ・ひとり（独居）でも安心 	<p>およい（見守り隊の活動をしている人と子どもや保護者をつなげ、感謝を伝えるなどすれば、より守られている実感があるのではないか）"</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の整備と道路整備をしっかりとしていく ・地域共生社会構築（近所同士の関係が実現された10年後に） ・日本一健康寿命の長いまち ・高齢者がスマホを活用し、活動が活発なまち ・デジタルの活用で孤独・孤立を防止 ・子どもが安心して安全に遊べる場所はどんなところかを再度考えることも必要（見守り隊の拡大）
オンラインで、まちづくりに参加？		<ul style="list-style-type: none"> ・「しんどい」を解決。「楽しい」まちづくりへ（地域の活動に対するイメージを、しんどいから「楽しい」へ。） ・「楽しい」を鍵につながるまち ・子どもが楽しいと「しんどい」より「楽しい」になる
ちょうどいい近さの、ご近所さん。		<ul style="list-style-type: none"> ・「ちょうどいい」の中身をみんなで考えられるまち ・ちょうどいい→ほどよい ・自治会の活性化（どんな工夫が必要か、何が求められているか、を考える機会が必要）
その他	・1-1 と 1-2 の内容はほぼ同じでは？	

問：「じぶん」が活きるまちって、どんなまちだろう。

答え（コピー）	A グループ	B グループ
全員、主役。全員、ファン。	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが主役、みんなのファン（全体的にひらがなが多いのにここだけ漢字だから） ・健康寿命を延ばすための運 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなまんなか、違いを認めて喜び合える社会 ・市民祭り・市民参加の催しを増やす、もしくは充実させる

	<ul style="list-style-type: none"> 動プログラム (YouTube) ・フレイル予防 ・人と関わるのが重要＝元気、ボランティア ・ボランティア活動参加率 No.1 のまち (参加率は低下しているが、10 年後には No.1 になりたい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者がまちから必要とされるまちへ (生涯活躍できるまち)
支えて、支えられて、活かし合って。	<ul style="list-style-type: none"> ・熱が出て一時的に預かってくれる場所があるまち ・支えて支えられて活かしあう ・充実した地域での支援 ・薬局、コンビニでの栄養プログラム支援 (給食センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ・できることがある人が「やってみる」になる、参加しやすい工夫 ・(強制せず) 互いのできることをしていく ・お互い様の心を育む ・公式輪投げ、ボッチャなどのニュースポーツの指導活動を行う ・老人会で健康推進・交流・親睦を深める ・見守りを互いにするなど、高齢者が高齢者を支える
地域がまるごと、学校。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちがまるごと学校 ・学校・幼稚園の授業にお年寄りの経験を取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の児童や生徒が参加できる催しを行う (学校を超えて、まち全体の教育を) ・学校は上から教え込まれるものではなく、学び合うまちに。(教えてもらうのを待つのではない) ・農業・林業など、みんなが先生
学びを、誰かの喜びに。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育を通じて地域貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分(たち)だけ楽しいを、みんなに広げるまちへ (自分が楽しむだけでなく、できることを伝えていく) ・個々の経験を活かせる仕組みづくり (「まちの国宝さん」的な人材の掘り起こし) (できる人、を探す) ・喜びが幸せにつながるように
動いた先で、いくつもの感動を。	<ul style="list-style-type: none"> ・免許証返納後の移動手段 (高齢者が多いので) ・車がなくても生活できる (出かけるほう、届けてもらうほう) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域によって「便利さ」にバラツキのないまちになればよい ・バスの本数が少ないなど、地域によって差がないよう

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民体育会（遠足） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ になってほしい ・ クルクルの走行地域を拡大してほしい
みんなバラバラ、みんなイキイキ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「みんなちがってみんないい」が実現しているまち ・ みんなそれぞれ、みんなイキイキ（バラバラよりもそれぞれ） ・ 女性だけ、男性だけではなく、「みんな」 ・ 権利（安心、自身、自由） ・ 自治会総会の開催にて地域活性化策を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バラバラではなく、みんな違ってみんなよい ・ 国際色豊かなまちづくりの視点をもち、在住外国人との協働を図る（歴史のまち＋外国人との協働で話題に）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協働が大事 ・ 物言うだけではなく「動く市民」になる ・ 守る市民 	

問：③これから、どんな「好き！」を深めていけるだろう。

答え（コピー）	A グループ	B グループ
まちの顔を、笑顔でいっぱい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちの顔 あふれる笑顔 ・ ご近所での挨拶、笑顔（引越越しされてきた人には） ・ 近所づきあいが喜びになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路整備、宿泊施設の整備 ・ 絆の強い・助け合う、隣近所の付き合い ・ 楽しいシーンをたくさん作り、世代間交流を促進
あたらしい一歩、踏み出し放題。		<ul style="list-style-type: none"> ・ まちで活動する際にいろいろな取組の選択肢がある（選択肢をみんなが知っている＋参加したい人が参加しやすい環境） ・ チャレンジャーが歓迎されるまち ・ 挑戦を応援するまち（みんな応援団） ・ 人が人を呼ぶまち（良いと思う＋伝えたいと思う）
推せるものを、育てるうれしさ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ施設再編で市外へアピール 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推しを育てる嬉しさや楽しさや喜びを感じられるまちであればよい ・ 女子サッカーチームなどを推していてもスポーツ施設がないので招待できない。推しを招待できる施設・宿泊施設の整備を ・ 誰もが参加できるように

		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの例のように、地域に招聘できる団体を積極的に呼ぶ ・推しが見つかるまちとして、推される可能性があるものを伝えていく ・推しの魅力を実感できる仕掛けを
住（じゅう）を、もっと自由に。	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートに農業 ・若い人が農業（デジタルも） 	<ul style="list-style-type: none"> ・住を自由、というより、地域間交流？
畑で活躍するクリエイター？	<ul style="list-style-type: none"> ・好きと好きが叶えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業は大事。子どもや保護者も巻き込み、魅力を知ってもらおう
つながって、叶えていく。		<ul style="list-style-type: none"> ・「私のまち」を大事にしたい気持ちを育て、自分事として行動できる人を育てる ・世代にとらわれずつながりを感じられる機会を ・集う場所の拡充（子育てする人が、子どもを遊ばせられる。悩みを打ち明けられる、一人じゃないと思える場所等） ・自主防災組織の充実 ・子どもと年長者が交流を持てる催しを増やせればよい（既存のお祭りなどについて、若者が参加しやすい形に）
その他		

その他の意見

A グループ	B グループ
<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象をキーワードに入れたらどうか 	